

平成18事業年度決算について

鹿児島大学は、平成18年度（第3期）の財務諸表及び決算報告書を文部科学大臣に提出し、その承認を平成19年9月11日に受けました。

国立大学法人の財務諸表は、企業会計原則を基に、教育研究という大学の業務内容の特性等に配慮した「国立大学法人会計基準」及びその「実務指針」等に従い作成しております。但し、今年度は基準の一部が改訂されたため、会計方針や財務諸表附属明細書の書式を一部変更しております。

この財務諸表によりますと、貸借対照表では平成18年度における資産合計が1千50億円、負債合計が280億円及び資本合計が770億円となっております。

また、損益計算書では経常費用が403億円、経常収益が415億円となっており、臨時損失、臨時利益及び目的積立金取崩額を含めた当期総利益は、約11億円となっております。

当期総利益は、国立大学法人会計基準に基づく固有の会計処理の要因によるものが大きく、当期総利益のうち、大学運営上の経営努力等による剰余は約4.4億円となっております。

当期総利益（剰余金）は、別途文部科学大臣の承認を受けた後、教育研究環境整備積立金として、平成19年度以降の教育研究の発展、環境整備等に使用することが可能となります。

大学の財政運営は、利益の獲得を目指すものではなく、教育・研究・診療活動の充実・発展の基盤の強化を目指すものであります。

本学の教育・研究・診療活動の更なる充実・発展のため、今後とも業務の見直しによるコスト削減や外部資金の獲得、人件費削減を含めた中長期的な財政状況を視野に入れ、より一層の財政基盤の強化に努めて参る所存でございますので、皆様方の更なるご支援・ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年9月13日

国立大学法人鹿児島大学

理事（財務・環境担当） 渡部 賢